

記入要領・記入例

様式1 (第4条関係)

令和3年度愛媛県新成長ものづくり企業等総合支援事業費補助金事業計画書

〇〇年〇〇月〇〇日

愛媛県知事 様

法人の場合は、代表者印を押印してください。

住 所 〇〇市〇〇町一丁目1-2

名 称 〇〇〇〇株式会社

代表者氏名 代表取締役 愛媛一郎 印

(担当者名 令和 太郎)

(担当者電話番号 089-000-0000)

令和3年度愛媛県新成長ものづくり企業等総合支援事業実施要綱第4条の規定により次のとおり事業計画書を提出します。

記

1 応募区分

該当する応募区分の□にチェック (■) を入れて選択してください。

事業名	補助事業区分	応募区分
新成長ものづくり企業等総合支援事業	一般枠	■
	小規模枠	□

2 添付書類

別添のとおり

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

【本件責任者及び担当者の職氏名・連絡先】

責任者	職：松山支店長	氏名：愛媛 次郎	連絡先：089-000-0000
担当者	職：営業課長	氏名：令和 太郎	連絡先：089-000-0000

(注1) 代表者印を押印する場合、本件責任者及び担当者の職氏名・連絡先の記入は不要。

代表者印の押印を省略する場合、本件責任者及び担当者の職氏名・連絡先を記入し、県が指定する者のメールアドレスを宛先に設定の上、電子メールにて提出すること。

(注2) 「責任者」欄には、支店長や営業所長など社内において権限の委任を受けた役職員を、「担当者」欄には、本申請に関する事務を担当する者を記入すること。

(注3) 任意団体の場合は、責任者及び担当者が同一でも差し支えないが、その旨分かるように記載すること(「同上」等。)

別紙2-1は、A4用紙1枚に収まるように記入すること。
各記入欄の大きさは適宜変更して構いません。

別紙1-1 事業の概要

1	事業名	(※) <u>第三者に分かりやすい事業名を簡略に記入すること。</u> 5G通信を活用したトラクターの開発
2	分野	県の戦略重点分野 【 <input type="checkbox"/> 高機能素材 <input checked="" type="checkbox"/> AI・IoT <input type="checkbox"/> 機能性表示食品】 その他 【 <input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> 情報サービス <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> ヘルスケア <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策 <input type="checkbox"/> その他 ()】
3	事業計画の内容	(※) <u>今回行おうとする技術開発の内容(どのような技術、開発等を行うのか)を300～400字程度で、第三者に分かりやすく記入すること。</u>
4	事業の目的・目標	(※) <u>応募事業の背景・必要性・成果目標・完成製品等の販売目標等を第三者に分かりやすく記入すること。</u>
5	独創性 実現性 市場性	(※) <u>応募事業の独創性・実現性・市場性を第三者に分かりやすく記入すること。</u>
6	これまでの技術開発内容・課題	(※) <u>応募事業に関して、これまで行ってきた技術開発等の内容や課題を第三者に分かりやすく記入すること。</u>
7	保有する知的財産権の内容	(※) <u>事業計画に関する知的財産権(特許、実用新案、意匠登録、商標登録等)の取得状況について、発明の名称や特許(出願)番号等を記入すること。</u>
8	技術開発体制	(※) <u>技術開発体制(役割・担当、主任開発者の所属職氏名、開発関係従事者数等)及び技術開発の実施場所について記入すること。</u> (※) <u>外部機関との連携体制</u>
9	補助金の交付を受けた実績又は申請中の補助金	(※) <u>応募事業に関連して従来補助金の交付を受けた実績や、現在申請中の他の補助金があれば、その名称、交付者、交付金額及び交付年度を記入すること。</u>

別紙1-2 事業の詳細

1 事業計画の内容

(※) 本テーマの技術開発の年次ごとのスケジュールを詳細に記入すること。

1年目（事業開始日から1年間）

- ・本事業の技術開発の1年目のスケジュールを具体的に記入すること。

2年目

- ・本事業の技術開発の2年目のスケジュールを具体的に記入すること。

〈記載のポイント〉

- ・今回行おうとする技術開発の内容（どのような技術開発等をどのように行うのか）を、開発項目ごとに記入すること。
- ・どのような機械装置や材料を使用して開発するのか記入すること。
- ・技術開発等を委託する場合は、その内容、必要性及び委託予定先を記入すること。
- ・本事業期間終了時点での技術開発、製品等の到達目標を具体的に記入すること。
- ・具体的な顧客と対象市場（市場規模）を示すこと。

2 事業の目的・目標

(※) 別紙1-1で記入した内容を概略図、解説、資料等を交え詳細に記入すること。

〈記載のポイント〉

- ・本補助金を必要とする理由を記入すること。

3 独創性・実現性・市場性

(1) 独創性

- ・独創性、新規性に優れ、他との差別化が図られているか。

(2) 実現性

- ・事業実施に必要な資金の調達方法など、資金計画が適切であるか。
- ・事業計画のコンセプトやストーリーが整理されているか。
- ・事前調査等が行われ、信頼性の高い計画となっているか。

(3) 市場性

- ・市場競争力があり、多くのニーズが期待されるか。

4 これまでの技術開発内容・課題

(※) 従来技術とどのように違うのか明確にするため概略図等を交え詳細に記入すること。

- ・これまでに行ってきた技術開発等の内容はどのようなものか記入すること。
- ・これまでに行ってきた技術開発等の技術的、経済的な問題点、課題はどこにあるのかを具体的に記入すること。
- ・本研究開発により従来のもので問題点等をどのように改善できるか、数値などを用いて記入すること。

別紙 1 - 3 実用化までの見通し

1 実用化の見通し（実用化するための資金・人員・設備体制等）

年月	取組みの段階	資金(千円)	人員(人)	設備
2年11月～	製品化に向けた技術開発・試作	26,190	5人	試作機
2年12月～	製品開発・市場調査	10,452	10人	
2年9月～	生産工場の整備	105,000	100人	土地、工場、生産設備
3年3月～	生産			

2 製品等の概要

<p>(※) <u>実用化する製品等の名称、機能、規格等（予定）を記入すること。</u></p> <p>(※) <u>開発したものを自社内で活用する場合は、開発により得られるメリット（製品の高付加価値化、生産コスト低減等）について記入すること</u></p>

3 事業化後の成果目標

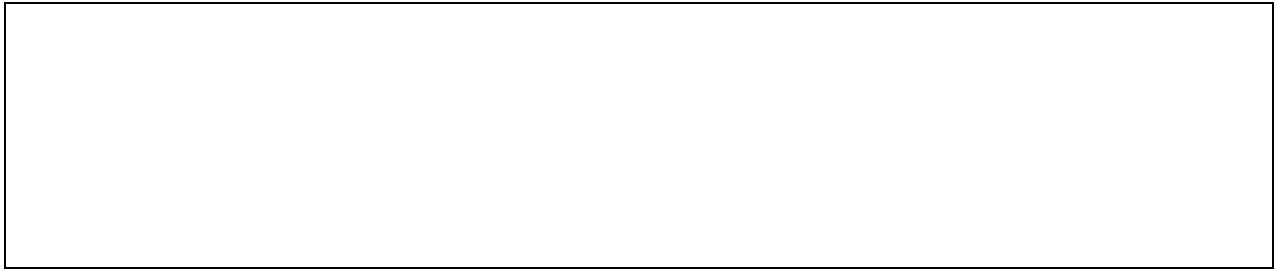
<p>(※) <u>本補助事業終了後の単年度毎の売上・利益見込額を記入すること。</u></p> <table> <tr> <td>補助事業終了後 1年目</td> <td>売上額</td> <td>500万円</td> <td>利益</td> <td>0万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2年目</td> <td>600万円</td> <td></td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3年目</td> <td>1,000万円</td> <td></td> <td>150万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4年目</td> <td>1,200万円</td> <td></td> <td>200万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5年目</td> <td>1,500万円</td> <td></td> <td>300万円</td> </tr> </table>	補助事業終了後 1年目	売上額	500万円	利益	0万円		2年目	600万円		20万円		3年目	1,000万円		150万円		4年目	1,200万円		200万円		5年目	1,500万円		300万円
補助事業終了後 1年目	売上額	500万円	利益	0万円																					
	2年目	600万円		20万円																					
	3年目	1,000万円		150万円																					
	4年目	1,200万円		200万円																					
	5年目	1,500万円		300万円																					

4 事業化にあたり解決すべきその他の課題 ※本事業終了後、さらに取り組み必要がある課題がある場合のみ記入すること

<p>(※) <u>この事業（製品等）を実用化するにあたって必要となる検査・承認等（法規制、J I S、業界ガイドライン等）を示し、その対処方針、スケジュール等について記入すること。</u></p> <p>(※) <u>本事業終了後において、さらに取り組みなければならない製品化のための課題を記入すること。また、どのように課題を解決するか、手段、資金の目途等対応スケジュールについて記入すること。</u></p>
--

5 課題解決後の事業化計画と成果目標 ※本事業終了後、さらに取り組み必要がある課題がある場合のみ記入すること

<p>(※) <u>上記の課題解決後における事業化計画を、生産計画・販売計画・市場獲得見込みなどの具体的な事業化の内容に区分し記入するとともに、課題解決後（補助事業終了後5年経過時まで）の単年度毎の売上・利益見込額を記入すること。</u></p> <table> <thead> <tr> <th></th> <th>売上額</th> <th>利益</th> <th>生産数</th> <th>販売</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助事業終了後 1年目</td> <td>0万円</td> <td>▲100万円</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2年目</td> <td>0万円</td> <td>▲50万円</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業化 1年目</td> <td>500万円</td> <td>100万円</td> <td>500</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>2年目</td> <td>800万円</td> <td>180万円</td> <td>800</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>3年目</td> <td>1,000万円</td> <td>200万円</td> <td>1,000</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) <u>対象となる販売先、最終ユーザーについて記入すること。</u></p> <p>(※) <u>事業化計画における製造・販売ルートを、仕入先・外注先・販売先・最終ユーザーの関連を踏まえてA4判1枚以内で図示・説明について記入すること。</u></p>		売上額	利益	生産数	販売	補助事業終了後 1年目	0万円	▲100万円	100	0	2年目	0万円	▲50万円	100	0	事業化 1年目	500万円	100万円	500	400	2年目	800万円	180万円	800	700	3年目	1,000万円	200万円	1,000	900
	売上額	利益	生産数	販売																										
補助事業終了後 1年目	0万円	▲100万円	100	0																										
2年目	0万円	▲50万円	100	0																										
事業化 1年目	500万円	100万円	500	400																										
2年目	800万円	180万円	800	700																										
3年目	1,000万円	200万円	1,000	900																										



別紙1-4 補助事業経費内訳（合計）※令和3年度分と令和4年度の3種類を作成

※2年計画であれば、年毎の予算のバランスを整えること

（単位：千円）

経費区分	名称	積算内訳	補助事業に要する全経費 (A)	補助対象経費 (B) (消費税等除く)	補助金充当予定額 (C)
(1) 原材料費	〇〇試薬 試験用具購入	500円/m l × 1000m l 10,000円/kg × 100kg	550 1,100	500 1,000	
計			1,650	1,500	1,000
(2) 構築物費					
計					
(3) 機械装置、工具器具費	試作機製作	〇〇部品 1,000/個 × 400個 本体組立て	440 19,360	400 17,600	
計			19,800	18,000	12,000
(4) 技術指導受入費	〇〇技術指導	5,000円/人/日 × 5人 × 120日	3,300	3,000	
計			3,300	3,000	2,000
(5) 外注加工費	サプリメント加工外注	150万円/回 × 4回	6,600	6,000	
計			6,600	6,000	4,000
(6) 市場調査費	展示会出展	250,000円/1小間k	275	250	
計			275	250	0
(7) 委託費	〇〇開発委託 〇〇開発委託	〇〇開発一式(300万円) 〇〇開発一式(100万円)	3,300 1,100	3,000 1,000	
計			4,400	4,000	1,000
(8) 人件費					
(9) その他の経費					
計					
合計			36,025	32,750	20,000

金額が、資金計画と一致すること

資金計画

（単位：千円）

区分	補助事業に充てる金額	資金調達先
補助金	20,000	
自己資金	6,025	
借入金	10,000	〇〇銀行
その他	0	
合計額	36,025	

別紙1-4 補助事業経費内訳（令和3年度）※令和4年度分と合計の3種類を作成

※2年計画であれば、年毎の予算のバランスを整えること

(単位：千円)

経費区分	名称	積算内訳	補助事業に要する全経費 (A)	補助対象経費 (B) (消費税等除く)	補助金充当予定額 (C)
(1) 原材料費	〇〇試薬 試験用具購入	500円/m ¹ × 500m ¹ 10,000円/kg × 50kg	275 550	250 500	
計			825	750	500
(2) 構築物費					
計					
(3) 機械装置、工具器具費	試作機製作	〇〇部品 1,000/個 × 200個 本体組立て	220 9,680	200 8,800	
計			9,900	9,000	6,000
(4) 技術指導受入費	〇〇技術指導	5,000円/人/日 × 5人 × 60日	1,650	1,500	
計			1,650	1,500	1,000
(5) 外注加工費	サプリメント加工外注	150万円/回 × 2回	3,300	3,000	
計			3,300	3,000	2,000
(6) 市場調査費					
計					0
(7) 委託費	〇〇開発委託	〇〇開発一式(300万円)	3,300	3,000	
計			3,300	3,000	500
(8) 人件費					
(9) その他の経費					
計					
合計			18,975	17,250	10,000

金額が、資金計画と一致すること

資金計画

(単位：千円)

区分	補助事業に充てる金額	資金調達先
補助金	10,000	
自己資金	3,975	
借入金	5,000	〇〇銀行
その他	0	
合計額	18,975	

別紙1-4 補助事業経費内訳（令和4年度）※令和3年度分と合計の3種類を作成

※2年計画であれば、年毎の予算のバランスを整えること

(単位：千円)

経費区分	名称	積算内訳	補助事業に要する全経費 (A)	補助対象経費 (B) (消費税等除く)	補助金充当予定額 (C)
(1) 原材料費	〇〇試薬 試験用具購入	500円/m ¹ × 500m ¹ 10,000円/kg × 50kg	275 550	250 500	
計			825	750	500
(2) 構築物費					
計					
(3) 機械装置、工具器具費	試作機製作	〇〇部品 1,000/個 × 200個 本体組立て	220 9,680	200 8,800	
計			9,900	9,000	6,000
(4) 技術指導受入費	〇〇技術指導	5,000円/人/日 × 5人 × 60日	1,650	1,500	
計			1,650	1,500	1,000
(5) 外注加工費	サプリメント加工外注	150万円/回 × 2回	3,300	3,000	
計			3,300	3,000	2,000
(6) 市場調査費	展示会出展	250,000円/1時間	275	250	
計			275	250	0
(7) 委託費	〇〇開発委託	〇〇開発一式(100万円)	1,100	1,000	
計			1,100	1,000	500
(8) 人件費					
(9) その他の経費					
計					
合計			17,050	15,500	10,000

金額が、資金計画と一致すること

資金計画

(単位：千円)

区分	補助事業に充てる金額	資金調達先
補助金	10,000	
自己資金	2,050	
借入金	5,000	〇〇銀行
その他	0	
合計額	17,050	